



甌島を走るCOMS

電源地域 振興トピックス

町の活性化と“再生”に向けた各地の取り組み

このコーナーでは電源地域各地の地域振興に向けた話題を取り上げています。今回は鹿児島県薩摩川内市、徳島県阿南市のほか、福島県広野町や各地で開催されたイベントの話題をお届けします。



エ コアイランドモデルの確立に向けて 甌島超小型モビリティ導入実証実験 鹿児島県薩摩川内市

薩摩川内市は現在、市内に内在する多くの課題を解決できる「市民の喜ぶエネルギー面での処方箋」を提示することを目的とし、「次世代エネルギーを活用したまちづくり」に取り組んでいる。

薩摩川内市は島しょ部、市街地、山間部・農村部など、多様な地理特性を有しており、地域ごとに課題を有している。例えば、島しょ

部の甌島は「シマ」活性化エコアイランドモデルの確立に向けて、低炭素型の地域公共交通の展開、自然的資産・社会的資産等の観光資源の掘り起しなどが具体的な課題となっている。この課題解決の可能性を探るために、平成25年度は国土交通省の補助を受け、「甌島超小型モビリティ(自動車より小柄の1~2人乗り程度の車両)導入実証事業」を行っている。



これは利用者(市民等)より、超小型モビリティにかかわる走行距離、位置情報およびバッテリー残量等の定量データや利用者の感想や乗り心地、イメージ等の定性データの収集を行い、市民生活の利便性の向上や観光振興を図るもので、将来的なエコアイランド化に向けた具体的な取り組みと位置づけられている。9月28日(土)には、導入した超小

日 本一の漁獲高のハモを活かした郷土料理「あなん丼」の開発

徳島県阿南市

「ハモ」といえば、京都の夏の風物詩のイメージが強いが、実は阿南市が漁獲高日本一である。また、「阿南の郷土料理は何ですか」と聞かれても、とっさに出る郷土料理がない。この2つの事実が結びついたのが「あなん丼」の開発である。

2010(平成22)年12月、ご当地丼を作ろうと、阿南商工会議所青年部が「郷土料理創造プロジェクト」を立ち上げた。

そして、翌2011(平成23)年10月、「あなん丼」の認定会を実施し、「ハモ」を使った丼を「あなん丼」、ハモ以外の阿南の特産品である食材を使った「創作あなん丼」と認定した(7

型モビリティ、トヨタ車体㈱の「COMS(コムス)」を活用した「甌島COMS電欠リレーマラソン」が開催され、フル充電のCOMSが実際に甌島で走行し、走行距離やエコ運転技術が競われた。COMSは今後、移動手段としてだけでなく、甌島の観光振興や地域活性化のツールとしても期待されている。



(上) 新しい郷土料理「あなん丼」
(下) 「あなん丼」認定式

店ずつ認定)。その後、翌2012年10月に第2回、2013年11月に第3回認定会を行い、更に「あなん丼」の公認店を増やした(ハモ19店・創作7店)。





(上)「ひろの復興祭」
(下)「ひろの童謡まつり音楽祭」



と深い関わりを持つ広野町で、毎年この時期に開催されている。
また、11月9日(土)・10日(日)には「ひろの復興祭」が開かれた。各種団体や個人の作品を展示する文化展のほか、健康講演会や収穫市も開かれている。

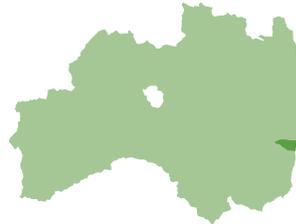
広野町で各種イベントが相次いで開催される

さらに、あなん井ガイドブックを発売、地域イベントやお祭りをはじめ、全国のどんぶり大会出場など知名度アップを図っている。プロジェクトを推進する阿南商工

会議所青年部では、ハモなど地域食材の地産地消の拡大と、食を通じた地域の活性化を目指し、10年後には「阿南市＝あなん井＝ハモ井」となるよう、これからも活動を続ける。

10月19日(土)、双葉地方広域市町村圏などの主催で、福島県双葉郡の復興イベント「ふたばワールド2013」が広野町総合グラウンドで開催された。

各地に避難している人々が活発に交流する場となった。



福島県広野町

このイベントは1990年代に各町村が持ち回りで開催していた祭で、東日本大震災で被災し、県内外に避難している住民の交流を目的に、14年ぶりに復活したもの。すいとん汁の振る舞い、双葉地方の太鼓や舞踊などの伝統芸能、軽食の出店、木工や織物の体験コーナーが設けられ、

翌20日(日)には、広野町中央体育館で「ひろの童謡まつり音楽祭」が開かれた。招聘された童謡歌手のほかに、広野町の小中学校をはじめとする合唱団や周辺の市町村合唱団、静岡県伊東市や埼玉県三郷市の合唱団も参加し、盛大な音楽祭となった。童謡・唱歌

この秋、各地で地域の物産や観光地のPRイベントが相次ぐ

新潟県柏崎市ほか

今年の秋は、電源地域関連のイベントが日本各地で開催された。

9月17日(火)～19日(木)の3日間、東京・新宿駅西口広場イベントコーナーでは「地域のちからコレクション2013秋」が開かれ、全国各地の電源地域から観光PRも兼ねた多

数の地域開発商品が出展され、出展者は首都圏住民へアピールするとともに、来場した首都圏バイヤーとの活発な情報交換が行われた。



「2013東北復興大祭典なかの」



「2013国際ご当地グルメグランプリ in 柏崎」

また、10月5日(土)・6日(日)の2日間、柏崎市では「2013国際ご当地グルメグランプリ in 柏崎」が開かれた。晴天に恵まれ、大盛況のイベントとなり、グランプリには出雲崎町商工会の「サザエの炊込みご飯」が受賞した。

さらに、11月9日(土)・10日(日)には東京・中野サンプラザ広場などで「2013東北復興大祭典なかの」が開かれた。このイベントは東京青森県人会主催の「青森人の祭典」と、中野区主催の「東北復興祈念展」が合同で開催したもの。東北各県の農水産物や工芸品などの販売のほか、民謡・三味線演奏、青森ねぶたも運行して、首都圏の住民に東北の食や文化をアピールした。



新宿での「地域のちからコレクション2013秋」